



▲キャンドルの明かりを教会までつなぐ子どもたち

柔らかな明かりに包まれたクリスマス ～大江冬まつり～

12/24
天草

12月24日、天草ロザリオ館一帯で「大江冬まつり」が開催されました。イベントには、市内外から200人が訪れ、コーラスグループによる合唱や児童によるダンス、サンタクロースからのプレゼント会などを楽しみました。また、子どもなど50人が参加してキャンドル行列を実施。参加者は、同館からイルミネーションで飾られた大江天主堂までの道のり約600メートルを、優しくともるキャンドルの明かりでつなぎ、幻想的な冬の祭りを演出しました。

牛深の海の幸を全国へ！

～お正月用のタイ・ブリを全国へ発送～

12/28
牛深

牛深地域の特産品を宅配している「ハイヤのふるさと牛深会」が12月28日、お正月用のブリやタイを全国各地に向けて発送しました。この日は、午後6時から牛深商工会議所や県養殖漁協の職員ら40人が、天草漁協牛深総合支所の後浜北荷さばき所で選別や箱詰めなどの作業を実施。この日のうちに約2,500箱を発送するため、職員らは養殖の約4.5kgのブリや約1.2kgのタイなどの箱詰め作業に追われていました。



▲選別されたブリの箱詰め作業を行う職員

ふれあいの心でイベントを楽しむ

～大浦ふれあい祭り～

12/13
有明

12月13日、「大浦ふれあい祭り」が大浦公民館などを主会場に開かれ、市内外から300人が訪れました。イベントでは、子どもたちの踊りや合唱の披露、文化展などを実施。講演では、熊本市尾ノ上校区防犯パトロール隊の下川邦子隊長が「オバパト隊守るつもりが守られて」と題し、パトロールによる人とのつながりなどを話されました。また、下川隊長が持参したリメイク衣装のファッションショーには聴衆も参加し、会場は大いに盛り上がりしました。



▲モデル顔負けのパフォーマンスで会場内は大爆笑！



▲竹あんどんの明かりを頼りに参道を歩く人々

竹あんどんが新年のお出迎え

～碓石十五社宮参道に竹あんどんを設置～

12/31・1/1
新和

12月31日、碓石地区の碓石十五社宮へ向かう参道に約200個の竹あんどんが設置され、年が明けて初もうでに訪れた地元住民や帰省客などを、優しい明かりで出迎えました。これは、同地区の有志で組織する「きばろ一隊」(田中浩介隊長ほか会員16人)が、地域の活性化と同宮への初もうでを促そうと毎年設置しているもの。田中隊長は「あんどんに込められた会員の願いが地域を照らす光となり、大きく飛躍することを願いたい」と話していました。

栖本オリジナル商品の第5弾が登場！

～焼き菓子「ひまわりポテト」販売中～

12/20～
栖本

栖本まちづくり協議会では、昨年12月20日から“へのかっぱシリーズ”に続く栖本オリジナル商品の第5弾として、「ひまわりポテト」を販売しています。この商品は、同協議会が栽培している食用ひまわりの種と、地元産のサツマイモを材料にして作られたもの。サツマイモの風味やひまわりの種の食感が楽しめる焼き菓자에仕上がっています。現在、栖本温泉センターなどで販売中です。詳細は同協議会事務局(栖本支所・総務振興課内)☎663111へ。



▲1個130円で販売。贈答用の5個入り(680円)、10個入り(1,470円)もあります。

新たな門出に花を添える

～天草高校倉岳校生徒が成人式でえびす太鼓を披露～

1/3
倉岳

天草高校倉岳校の生徒13人が1月3日、倉岳多目的研修集会施設で行われた「倉岳地区成人式」のオープニングアトラクションとして「えびす太鼓」を披露しました。これは同校の生徒が、地元出身の先輩が迎えた新たな門出を祝おうと、えびす太鼓保存会の指導を受けて初めて実施したもの。出席した33人の新成人は、思ってもいなかった後輩たちからの太鼓の響きの激励に、はじめは驚きながらも新成人への決意を新たにしているようでした。



▲一生懸命に太鼓を鳴らす生徒

牛深の水産業などを体験

～朝市体験学習～

12/20
牛深

牛深の良さを知り、ふるさとに誇りを持ってもらおうと12月20日、地域の町おこしグループ・朝市ボランティア&となりぐみ店が「朝市体験学習」を開催し、牛深中学校の生徒3人が参加しました。生徒たちは、地元の水産加工場でキピナゴを刺身にするようすを見た後、できた刺身を箱に並べる作業を体験。また、漁協での出荷作業や海中公園を見学しました。参加した生徒は「牛深のことをいっぱい知ることができてよかった」と話していました。



▲キピナゴの刺身をていねいに並べる生徒